

センチネル 32J と SPARC M10-1 (Oracle Solaris11.2) の 接続検証結果報告書

株式会社 昌新
技術部

目次

1. 作業実施概要	3
2. 被検証装置	3
3. 作業期間	3
4. 作業場所	3
5. 実施システム構成	4
6. 検証項目	4
7. 検証結果	4
8. お問い合わせ先	4

1. 作業実施概要

Logical Solutions 社のシリアルコンソールサーバー『センチネル32J』と SPARC M10-1(Oracle Solaris11.2) との 接続・動作確認 を実施いたしました。

2. 被検証装置

品 名	型名	記 事
富士通 UNIX サーバ	SPARC M10-1	Oracle Solaris11.2
センチネル 32J	SCS-003200J	RoHS 対応



富士通 UNIX サーバ SPARC M10-1
(Oracle Solaris11.2)



センチネル 32J
(32ポート, スケーラブル, フルリダン
ダントコンソールサーバ)

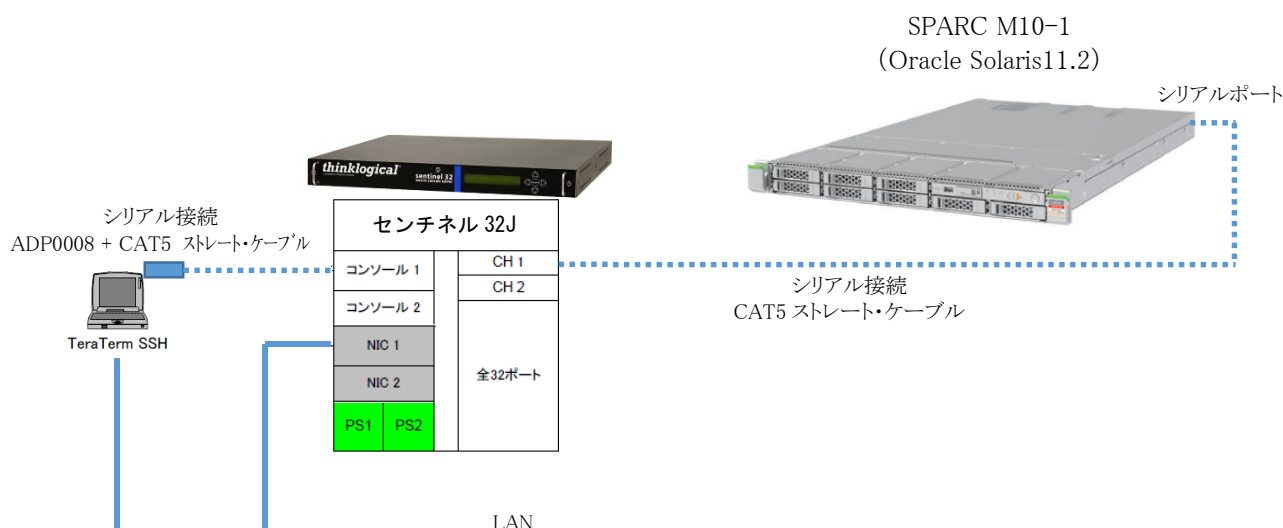
3. 作業期間

2015年 05月 20日

4. 作業場所

富士通検証センター(東京・浜松町)

5. 実施システム構成



- (1) SPARC M10-1 (Oracle Solaris11.2)
- (2) センチネル 32J

6. 検証項目

- 6-1. TeraTerm を実行する WindowsPC から、シリアル接続、Telnet 接続 および SSH 接続 により、『センチネル32J』に接続出来る事。
- 6-2. 『センチネル 32J』 経由で、SPARC M10-1 のコンソール操作を、支障なく行える事。
- 6-3. 『センチネル 32J』 の電源を切った時に SPARC M10-1 が停止しない事、また電源再投入した場合も、問題なく SPARC M10-1 に接続出来る事。
- 6-4. SPARC M10-1 の電源切った (shutdown または poweroff コマンド等による電源断) 時に『センチネル 32J』 が問題なく動作出来る事、また電源再投入(OS 起動) した場合も問題なく『センチネル 32J』に接続出来る事。

7. 検証結果

上記6. 検証項目の4項目において、コンソールサーバー『センチネル 32J』 経由で、SPARC M10-1 (Oracle Solaris11.2) のコンソール接続および操作に関し問題ない事を確認しました。

尚、SPARC M10-1 (Oracle Solaris11.2) 管理コンソールと、XSCF とのコンソール切替は、シェルプロンプト(XSCF>) から “XSCF> console -d 0” を入力, console から XSCF に戻る時には、“#> #.” を入力する事により行いました。

8. お問い合わせ先

株式会社昌新

情報システム営業部 (担当: 浅利)

TEL:03-3270-5926

E-mail: IS@shoshin.co.jp

URL: <http://www.shoshin.co.jp/c/lsi/scs>

以上